

4 ch Field Mixer FS-40X

取扱説明書

で使用の前に必ずこの取扱説明書をお読みください。 なお、取扱説明書は必要に応じてご覧になれるよう 大切に保管してください。 安全上の注意 WARNING

この製品の使用、または使用不能から生ずる付随的な損害(情報内容の変化・消失、事業利益の損失、事業の中断など)に関して、 当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

取扱説明書の記載内容を守らないこと、あるいは取扱説明書の記載内容の誤記、等により生じた損害に関して、当社は責任を 負いかねますのであらかじめご了承ください。

で使用の前に、この『安全上の注意』をよくお読みのうえ、正しくお使いください。また、お読みになった後は、大切に保管してください。

安全上の注意は、お使いになる人や、他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐための内容になっていますので、必ずお守りください。

表示と図記号の意味は次のようになっています。

警告

"取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負うことが想定されること"を示します。 重傷とは、失明、怪我、高温やけど、低温やけど、感電、骨折、中毒などで、治療に入院や長期の通院を要するものをさします。

注意

"取扱いを誤った場合、使用者が傷害を負うことが想定されるか、または、物的損害の発生が 想定されること"を示します。 傷害とは、治療に入院や長期の通院を要しない、怪我、やけど、感電、などをさします。

禁止 "禁止"(してはいけないこと)を示します。

指示 "指示する行為の強制"(必ずすること)を示します。

警告

加熱、火事、感電、怪我および機器の破損を防ぐため必ずお守りくだい。

物的損害とは、家屋、家財および家畜、ペットなどにかかわる拡大損害をさします。

- ■機器のカバー、部品などをとりはずさないこと。
- ■機器の分解、改造、修理をしないこと。
- 禁止
- ■水、その他液体の近くで使用しないこと。
- ■水、湿気にさらさないこと。
- ■水滴、水はねにさらさないこと。雨にさらさないこと。
- ■汗、飲み物などでぬらさないこと。
- ■水、その他液体の入った容器、花瓶などを機器の上に置かないこと。
- ■金属などを機器の上に置かないこと。
- 指示
- ■煙が出ている、変なにおいや音がする等の異常が発生した場合は、すぐに電源スイッチを切る!
- ■水、汗などが内部に入った場合は、すぐに電源スイッチを切る!
- ■内部に異物などが入った場合は、すぐに電源スイッチを切る!
- ■落としたり、強い衝撃を与えたり、破損した場合は、すぐに電源スイッチを切る!

スイッチを切らないでそのまま使用すると、加熱、火事、感電、怪我および機器の破損の原因となります。

※修理、その他サービスは、指定のサービス技術者にお問い合わせください。

※お買い上げの販売店または PROTECH/NIPROS サポートセンターにお問い合わせください。

注意

加熱、火事、感電、怪我および機器の破損を防ぐため必ずお守りくだい。



禁止

- 1. 取扱説明書をよくお読みください。取扱説明書を大切に保管してください。
- 2. 警告、注意に従ってください。 指示に従ってください。
- 指示 3. 機器のお手入れには、乾燥した布を使用してください。
 - 4. 機器を水の近くで使用しないでください。
 - 5. 機器を暖房機器、調理器など、またアンプなど、熱を発生する熱源の近くに設置しないでください。
 - 6. 機器を引火性ガスの発生する場所では使用しないでください。事前にスイッチを切ってください。
 - 7. 機器を指定の電源電圧以外で使用しないでください。 8. 機器をぐらついた台や傾いたところなど、不安定な場所に置かないでください。
 - 9. 機器の上に重いものなどを置かないでください。
 - 10. 付属品、アクセサリー等は、本機器製造元が指定したものを使用してください。

指示

- 11. カート、スタンド、三脚、ブラケット、等は、本機器製造元が指定したもの、または、本機器の付属品となるもの を使用してください。カートの使用時、カートの移動時の機器の落下による怪我にご注意ください。
- 12. 機器に換気口が設置されている場合は、換気口を塞いだり、換気を妨げないように、取扱説明書に従って設置 してください。

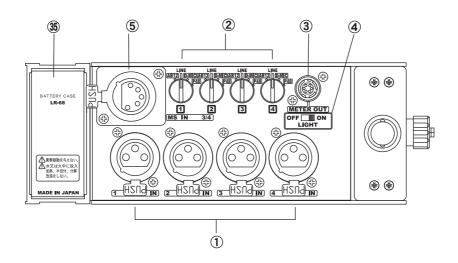
各部名称と働き	4
入力パネル(左側面)	4
メインパネル (前面)	6
イコライザーパネル(上面)	9
出力パネル (右側面)	10
使用方法	12
電源	12
入力の設定	14
出力の接続および設定	15
出力レベルの調整	16
入力レベルの調整	18
イコライザーの設定	19
8chミキサーの設定(リンク仕様)	20
オプション	21
ブロックダイアグラム	22
外形寸法図	23
仕様	24

各部名称と働き

4 ch Field Mixer FS-40X

FS-40X 各部名称と働き

入力パネル(左側面)



① 入力コネクタ 1 IN/2 IN/3 IN/4 IN (XLR 3-pin)



② 入力切替スイッチ 1/2/3/4

入力切替スイッチは、チャンネル1~4それぞれに独立して設けられています。 チャンネル1~4それぞれに接続された機器に応じて設定します。

P48 : ファンタム 48 V コンデンサーマイクを接続するとき (例: SONY C-74, 等)

D-MIC : ダイナミックマイクを接続するとき

LINE : ラインレベル(O dB) の信号を接続するとき

AB12 : A-B 12 V を接続するとき (例: SENNHEISER MKH416T, 等)

Input panel (Left side)

③ METER OUT コネクタ (6-pin)

4chオーディオメーター(MB-40X:オプション)を接続します。

ピンアサイン

6PIN:IN 4

5PIN:IN 3

4PIN:IN 2



1PIN:GND

2PIN:+12V

3PIN:IN 1

④ LIGHT スイッチ

ON:マスターボリュームLEDとメーター照明が点灯します。

OFF: 消灯します。

上記以外のLEDは各機能に応じて点灯します。

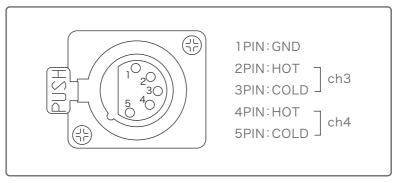
OFF ON LIGHT

⑤ MS IN 3/4 MSマイク入力コネクタ (XLR 5-pin)

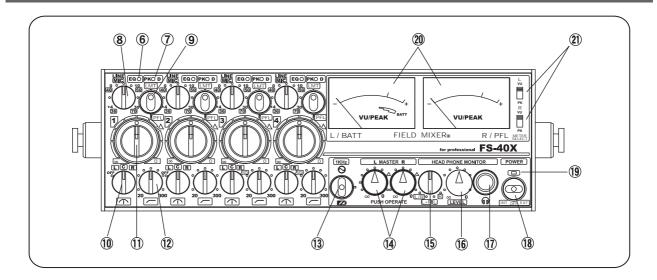
ステレオ入力(MSマイク等)専用5ピンコネクタ。信号はch3,4に入力されます。 (注)MSコネクタと3,4chコネクタとの同時接続はできません。

MSマイク使用の場合は、前面パネルのchセレクトスイッチを MS に切り替えます。

ピンアサイン



メインパネル(前面)



⑥ イコライザー(EQ)LED

天板上のイコライザースイッチがONのとき黄色に点灯します。これにより前面パネルでイコライザーのON/OFFが確認できます。

⑦ PK/D LED オーバーロード(PK:赤色) およびダイレクトアウト(D:緑色)2色LED

各ch毎に、瞬間でもレベルがオーバーした時に点灯します。入力レベルまたはマスターボリュームの設定値が高いことを示します。

右側面のアウトセレクト(OUT SELECT)スイッチをダイレクトにするとLEDが緑色に点灯します。 オーバーロード時には橙色になります。

® MIC/LINEトリムボリューム

入力を適正なレベルで取り込むため、入力信号のレベルを調整します。

MIC: マイクで入力された最小-70dBmから最大-36dBmまでの信号を調整します。

LINE: ライン入力の場合は、-30~+4dBmの間の信号を調整します。

これにより感度の違うマイクやレベルの違う音源の音声を同レベルにすることができます。

各入力chに独立して設けられているハイパーリミッター回路を、各ch毎に独立してON/OFFします。 LMT側にするとハイパーリミッター回路がONになり、機能します。

(注)ハイパーリミッターを使用する場合は、

まずLMTスイッチをOFFにして、トリムボリューム、マスターボリュームでレベルを調整し、確定した後、ON(LMT)にしてください。

PFL機能: スイッチをPFL側へ押すと、押している間だけPFL機能が働き、右メーターにマスターボリューム 直前(フェーダーが機能する前)のレベルを表示し、ヘッドホンにはその音声のみが出力されます。

(注)但し、マスターボリュームがMIN(∞)ときは、ヘッドホンに音声が出力されていても、出力チャンネルへはミキシングされませんので注意してください。

Main panel (Front)

⑩ L/C/R/MS 出力CH選択スイッチ

CH1~4各ch毎に調整された信号をL/Rchへどのようにミキシングするかを選択します。

L: Lのみヘミキシング C: LとRの両方へミキシング R: Rのみヘミキシング

MS : MSマイク専用(ステレオ) (3,4ch のみ装備) MSコネクタ(または 3/4INコネクタ)に接続した

MSマイクを使用するとき

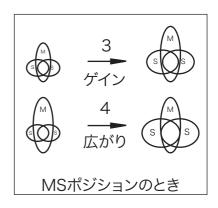
OFF: 信号はミキシングされません。(1,2ch のみ装備)

① CHマスターボリューム(フェーダー/ミキシングボリューム)(表示LED付)

各ch毎のミキシングレベルを調整するボリュームです。 ライトスイッチ((a))がONのとき、ツマミの先端のLEDが点灯し,暗い中でも見え、調整ができます。

(注意) CH3/4のボリュームコントロールは、L/C/R/MS 選択スイッチ が MSにセットされているときは、機能が換わります。

CH 3 ボリューム: 音量(ゲイン)を調整します。 CH 4 ボリューム: 音の広がりを調整します。



© 20/300 LOW CUTカットオフ周波数調整ボリューム

風雑音等の低域(20Hz~300Hz)をカットするためのカットオフ周波数を調整します。 ヘッドホン等でモニターしながら調整して使用してください。

3 1kHz/バッテリーチェックスイッチ

 kHz ○ : マスター出力、およびサブ出力に1kHz 基準音が出力されます。

メインパネル(前面)

MASTER L/R マスターボリューム

MAS出力のレベルを調整します。L.R独立です。

プッシュロックタイプを採用し、不用意につまみがまわらないようにできています。調整したい場合は、 つまみを押すと飛び出しますので調整が容易に行えます。その後再度押し込んでください。

(§) HEADPHONE MONITOR L/R ヘッドホンモニターセレクトスイッチ

 ϕ 6.3標準ヘッドホンジャック(①)および、 ϕ 3.5ミニヘッドホンジャック(②)にセットされたヘッドホンに出力するモニター信号を選択します。

 L/R
 L/R ステレオ

 L+R
 L+R ミキシング

L+R L + R ミキシ L モノラル

R R モノラル

16 HEADPHONE MONITOR LEVEL ヘッドホンモニターレベルボリューム

ヘッドホンモニターセレクトスイッチ(⑤)で選択された音声のモニターレベルを調整します。

① HEADPHONE MONITOR φ 6.3 標準ヘッドホンジャック

 ϕ 6.3標準プラグヘッドホンジャックです。ヘッドホンモニターセレクトスイッチ($\mathfrak G$)、レベルボリューム($\mathfrak G$) によって設定された音声を出力/モニターします。

® POWER 電源スイッチ

電源をON/OFFします。INT、EXTのどちらでも、電源がONの時にはPOWER表示LEDが点灯します。

INT:内部(後面)のバッテリーケース(3))から電源が供給されます。

EXT: DC 12V IN XLR 4ピン入力コネクタ(3))から電源が供給されます。

19 POWER Indicator LED

POWERスイッチが INT(内部電源)、または EXT(外部電源)にセットされ、電源がONのときに点灯します。 この表示は電圧チェック機能を持っており、電源電圧が約8.2V以下で点滅して電池容量不足を警告します。

20 VU/PEAK L/BATT および R/PFL オーディオレベルメーター

2個のメーターによりL/Rチャンネル同時にモニターできます。METER SELECT メーター切替スイッチによりVUメーターとPEAKメーターとの切り替えが可能です。

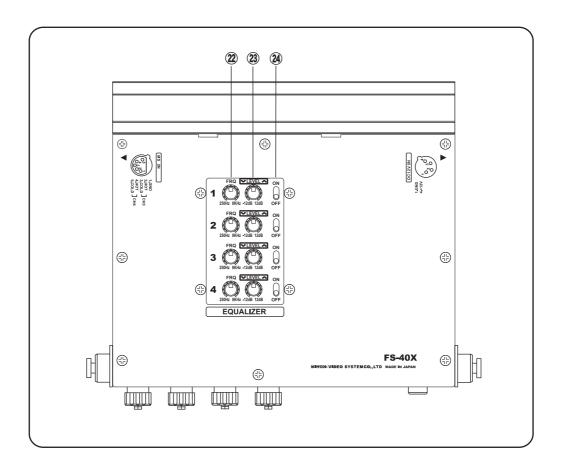
VU: VUメーター、上段の目盛 -20~+3dBで表示されます。

PK: PEAK PROGRAMメーター、下段の目盛 -60~0dBで表示されます。

② METER SELECT VU/PK オーディオメーターVU/ピーク切替スイッチ

VU/PEAKメーター(**②**))を、入力信号によってVU、またはPEAKメーターに切り替えます。L/R独立して設定ができます。

Equalizer panel (Top panel)



② EQUALIZER FRQ イコライザーフリケンシーボリューム

入力CH毎にイコライザーが設けられています。各入力CH毎にイコライザー周波数を調整できます。 250Hz~8kHzの可変範囲で任意に調整できます。

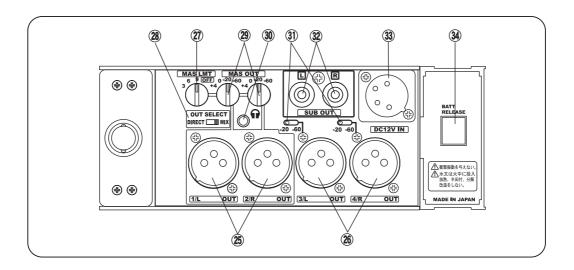
3 EQUALIZER LEVEL イコライザーレベルボリューム

各入力CH毎にイコライザーレベルを調整できます。イコライザーフリケンシーボリューム(②)で設定された 周波数を -12dB \sim +12dBの可変範囲で任意に調整できます。

❷ EQUALIZER ON/OFF イコライザーON/OFFスイッチ

入力CH毎に設けられたイコライザーをそれぞれ独立してON/OFFできます。 イコライザーフリケンシーボリューム(②)、イコライザーレベルボリューム(③)で調整されたイコライザー効果をON/OFFします。調整した設定を残したままイコライザーをOFFにすることができ、このスイッチのON/OFFで効果を確認したりすることができます。

出力パネル (右側面)

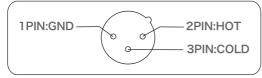


MAS OUT 1/L OUT 2/R OUT マスター出力コネクタ(XLR 3-pin)

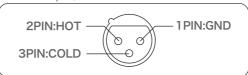
マスターボリューム((4))により調整された信号を出力します。出力基準レベルは、各CH毎に設けられているマスター出力レベル切替スイッチ((20))により、ch毎に+4/0/-20/-60dBmに設定できます。
OUT SELECTスイッチの設定がMIXの時はミキシングされたLチャンネル、Rチャンネルが出力され、DIRECTの時は入力CH1、CH2がダイレクトで出力されます。

FS-40X A タイプ: オス コネクタ FS-40X B タイプ: メス コネクタ

XLR 3-pin, オス ピンアサイン



XLR 3-pin, メス ピンアサイン



SUB OUT Connectors (XLR 3-pin)

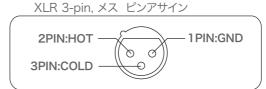
マスターボリューム((4))により調整された信号を出力します。出力基準レベルは、各CH毎に設けられているマスター出力レベル切替スイッチ(③)により、ch毎に -20/-60dBmに設定できます。

OUT SELECTスイッチの設定がMIXの時はミキシングされたLチャンネル、Rチャンネルが出力され、DIRECTの時は入力CH3、CH4がダイレクトで出力されます。

FS-40X A タイプ: オス コネクタ FS-40X B タイプ: メス コネクタ

1PIN:GND ______2PIN:HOT

XLR 3-pin, オス ピンアサイン



② MAS LMT マスター出力リミッターレベル切替スイッチ

3PIN:COLD

MAS OUTマスター出力のリミッターレベルを +9/+6/+3dB から選択し、適切なレベルに切り替えます。 OFFのときは、リミッターは機能しません。

出力パネル(右側面)・バッテリーホルダー

28 OUT SELECT DIRECT/MIX 出力セレクトスイッチ

MIX : 各CHに入力された音声はCHセレクトスイッチ(no)によりL、Rにミキシングされて出力されます。

DIRECT: 各chに入力された音声は1 IN→1 OUT、2 IN→2 OUT、3 IN→3 OUT、4 IN →4 OUTに

ダイレクトに出力されます。CHセレクトスイッチは無効となります。

このスイッチがDIRECT側のときは、前面パネルのPK/D2色LED(⑦)が緑色に点灯します。

29 MAS OUT +4/0/-20/-60 dB マスター出力レベル切替スイッチ

MAS OUT マスター出力レベルを+4/0/-20/-60dBmの4つのレベルより選択し切り替えます。 L/Rチャンネルを独立して設定することができますので、MAS OUTに接続されるレコーダーに合わせてそれぞれを 適切なレベルに設定します。

30 ヘッドホンコネクタ (ø3.5 ミニジャック)

MAS OUTの出力を ϕ 3.5ミニプラグのステレオヘッドホンジャックでモニターします。 前面メインパネルの ϕ 6.3標準ステレオヘッドホンジャックと同時に使用できます。

③ SUB OUT -20/-60 dB サブ出力レベル切替スイッチ

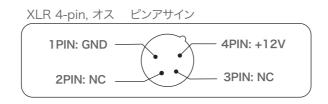
SUB OUT サブ出力レベルを -20/-60dBmの2つのレベルより選択し切り替えます。 L/Rチャンネルを独立して設定することができますので、SUB OUTに接続されるレコーダーに合わせてそれぞれを 適切なレベルに設定します。

③ SUB OUT サブ出カコネクタ(RCA ピンジャック)

RCAコネクタでL/Rが出力されます。出力レベルは、家庭用レコーダー等に適合する -10dBVに設定されています。OUT SELECTスイッチがMIX、DIRECTにかかわらずミキシングされたL、Rが出力されます。

③ DC 12V IN 入力コネクタ

外部電源、ACアダプターなど DC 9~18Vの電源を接続します。電源スイッチが EXT側のとき電源が供給されます。



③ BATT RELEASE バッテリーリリースボタン

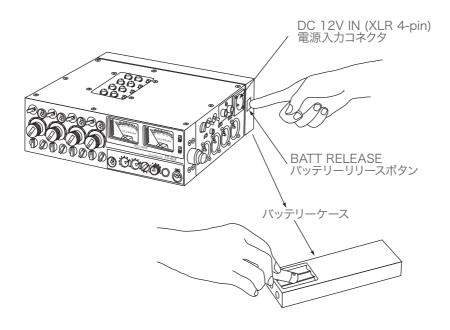
ボタンを押してバッテリーケースを取り出します。

35 AAバッテリーケース (LR-68)

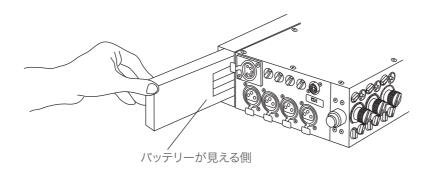
単三乾電池(LR-6)8本を入れて使用します。電源スイッチが INT側のとき電源が供給されます。 バッテリーチェックスイッチ(3)をバッテリー側に倒すとL側L/BATTメーターで 残量をチェックできます。 バッテリーケース

■バッテリーケースの脱着

- 1. バッテリーリリースボタンを押してバッテリーケースを取り出します。バッテリーケースに単三乾電池 8本を正しい方向に入れます。
 - (注)外部電源を使用するときは、DV 12V IN コネクタ(XLR 4-pin)に接続します。



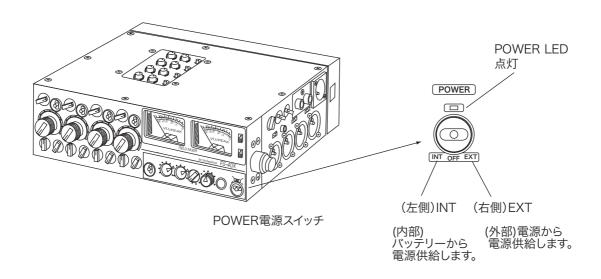
2. バッテリーケースを正しい方向に気をつけて本体に挿入し、「カチッ」と音がして収まる位置まで押し込みます。



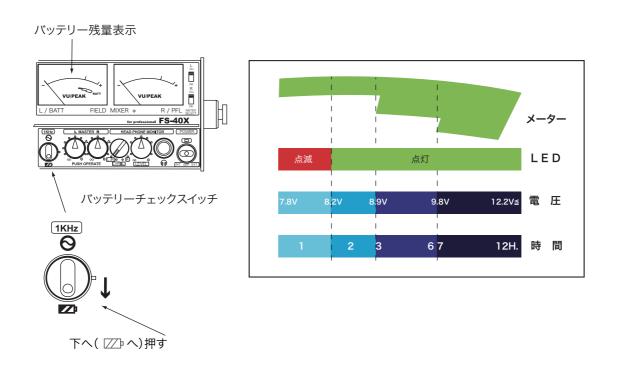
3. (注意) このときバッテリーケースがロックされていることをご確認ください。

■ 電源ON/OFFとバッテリー残量の確認

1. メインパネル(フロント)右側のPOWER電源スイッチをINT(左側)にし、POWER LEDが点灯することを確認します。 外部電源を使用する時はPOWER電源スイッチをEXT(右側)にします。



2. バッテリーチェックスイッチを ZZP側に押すと、左側のL/BATTのメーターがバッテリー残量を表示します。 緑の一番右の領域に針があれば、7時間以上使用可能です。



入力信号の設定・接続

■入力切替スイッチの設定および入力信号の接続

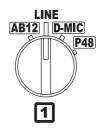
- 入力信号を接続する前に、入力切替スイッチを切り替え、設定します。
 入力するコネクタは、ミキシングおよび出力するコネクタによって選択します。
- 1. 入力信号に合わせて、入力切替スイッチを切り替えます。

LINE: LINEレベルの信号を接続するとき

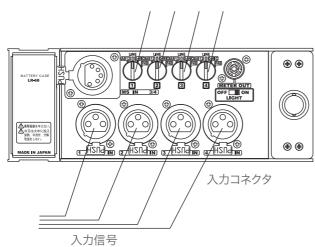
P48 : ファンタムP-48Vコンデンサーマイクを接続するとき

AB12: A-B12Vタイプマイクロホンを接続するとき

D-MIC: ダイナミックマイク(電源を必要としないマイク)を接続するとき



入力切替スイッチをそれぞれ設定



入力コネクタ ピンアサイン

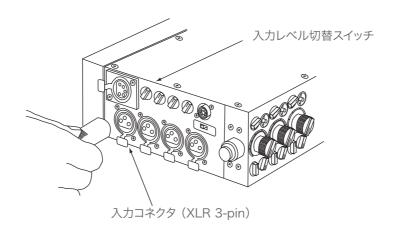
FS-40X A タイプ
XLR 3-pin メス

2PIN:HOT 1PIN:GND
3PIN:COLD

FS-40X B タイプ
XLR 3-pin オス

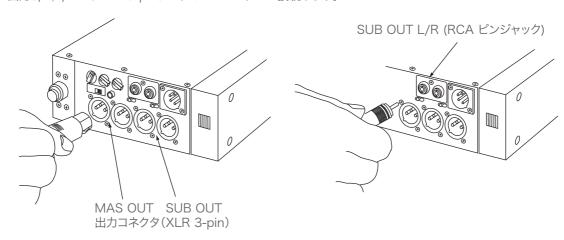
1PIN:GND 2PIN:HOT
3PIN:COLD

2. 入力切替スイッチの切り替え、設定が終わったら、それぞれXLR 3-pinケーブルにて接続します。



■レコーダーへの接続および出力レベルの設定

1. 音声出力をレコーダー等へ出力する場合には、右側面パネルの出力コネクタMAS OUT(1/L,2/R)、またはサブ出力3/L.4/RからXLR 3-pinケーブルでレコーダーと接続します。

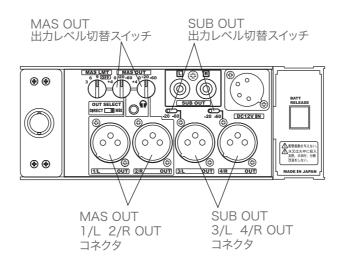


2-1. MAS OUT 出力レベル切替スイッチおよび SUB OUT 出力レベル切替スイッチを、それぞれ接続された機器、レコーダーの入力レベルに合わせて適切なポジションに切り替えます。

MAS OUT 1/L および 2/R : +4, 0, -20 または -60dB SUB OUT 3/L および 4/R : -20 または -60dB.

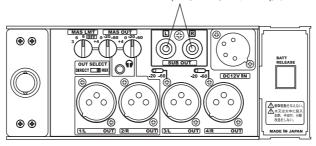
(例)入力レベル +4 dB のレコーダーの場合: 1/L または 2/R OUTコネクタに接続し、

MAS OUT 切替スイッチを +4dBにセットします。



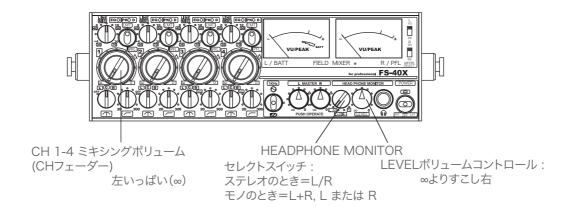
2-2. レコーダーが RCA ピンジャック入力の場合は、SUB OUT RCA ピンジャック出力へ接続します。 レベルは、-10 dBV に固定されています。

SUB OUT L/R(RCA)コネクタ(出力レベル: -10 dBV)



■出力レベルを調整します

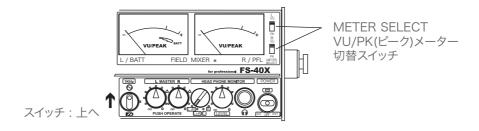
1. 全チャンネルのCHミキシングボリューム(CHフェーダー)を左いっぱいに回して ∞ にします。 前面メインパネルの右側のHEAD PHONE MONITORセレクトスイッチを L/Rにし、LEVELボリュームを ∞ から 少し右に回します。



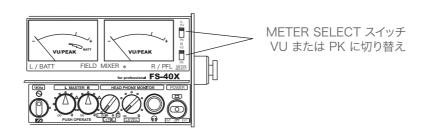
2. HEADPHONE MONITOR ジャックにヘッドホンを接続します。



3. 前面メインパネルの1kHzスイッチをONにします。



4. METER SELECTメーター切替スイッチ を VUまたはPKに切り替えます。 このとき、接続するレコーダの採用しているメーターと同じメーターを選択するとより正確にレベルを合わせること ができます。



出力レベルの調整

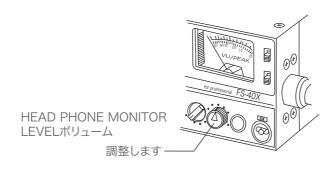
5. このとき、VUメーターのときはOdB、PEAKメーターのときは-20dBになるように、MASTER L/Rマスターボリュームを調整します。

VU メーターのとき : OdBへ合わせます
PEAK メーターのとき: -20dBへ合わせます

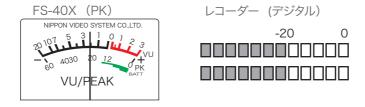
MASTER L/R
(PUSH OPERATE)

ツマミを押すと、ツマミがポップアップして回して調整できます。

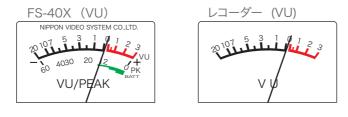
6. この時、同時にヘッドホンレベルを適度な音量になるようにHEADPHONE MONITOR LEVELボリュームを調整します。



7. ここで、接続されたレコーダーのレベルが正しくなるようにレコーダーの入力レベル調整をします。
(注)レコーダーがPEAKメーター仕様なら、FS-40Xおよびレコーダーを -20dBになるように調整するのが適切です。

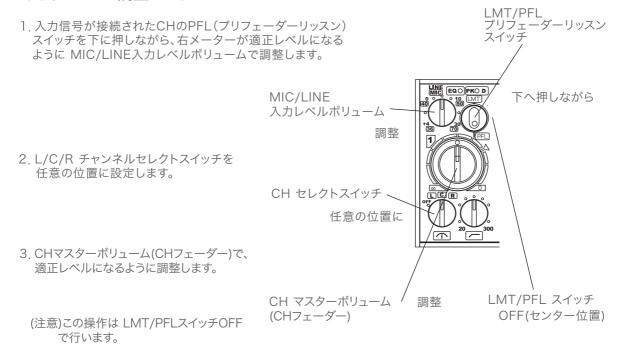


(注)レコーダーがVUメーター仕様なら、FS-40Xおよびレコーダーを 0 VUになるように調整するのが適切です。



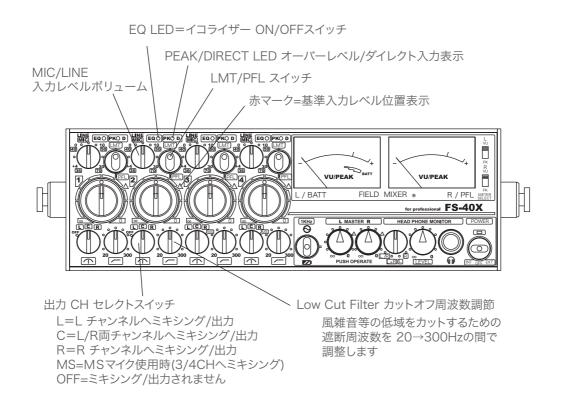
8. 調整後1kHzをOFFにします。

■入力レベルを調整します



4. 入力レベル設定後、ハイパーリミッターを使用する場合は、LMT/PFL スイッチを LMT(上側)にします。. LMT/PFL LMT(ON)のときには、突然の過大入力に対してリミッターが働き、音が歪み、割れるのを防ぎます。

MAS LMT マスター出力リミッターは、MAS LMT スイッチを +9/+6/+3dB にセットすると機能します。 MAS LMT スイッチが +9 より +3dB のほうが強く働きます。必要に応じて設定してください。

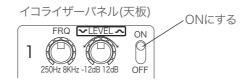


イコライザーの使用方法

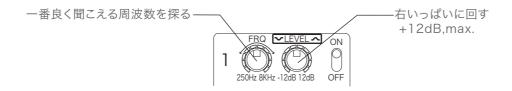
■イコライザーを設定します

入力音声の特定の音域を強調または抑えたい場合は、上面のイコライザーにより調整します。 イコライジングする周波数は、各CHoFRQボリュームによって 250 Hz \sim 8 kHz の範囲で調節できます。 イコライジングするレベルは、各CHoLEVELボリュームによって -12 dB \sim +12 dB の範囲で調節できます。

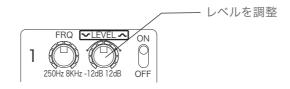
1. 使用するチャンネルのイコライザーのON/OFFスイッチをONします。



2. LEVEL調整ボリュームを右いっぱい(+12dB)にします。 ヘッドホンで確認しながら、FRQのボリュームを 250Hz~8kHz の範囲で変化させ、強調したい音声が 一番良く聞こえる周波数を探ります。



3. 周波数が決まれば、LEVELを任意に調整します。



4. EQUALIZERスイッチのON/OFFを行えば、イコライザーノ効き具合を確認できます。 EQUALIZER ONのとき前面パネルのEQ LED(黄色)が点灯し、前面パネルでもON/OFFが確認できます。



5. 同じ手順で、4チャンネルとも調整します。

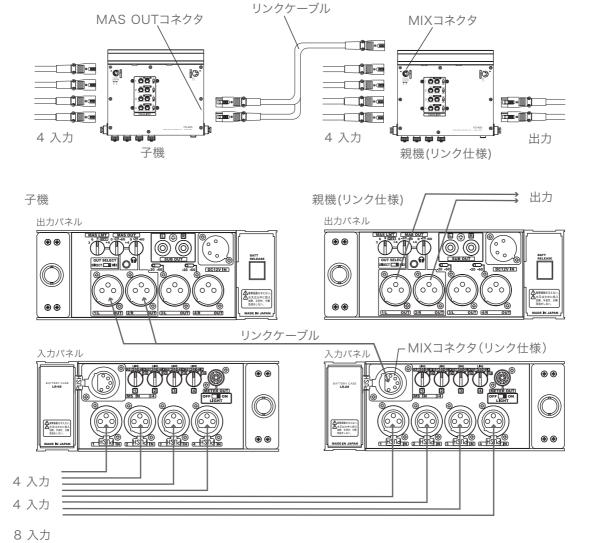
これで音声の設定・調整は完了です。

■8chミキサーとして使用する(リンク仕様のみ)

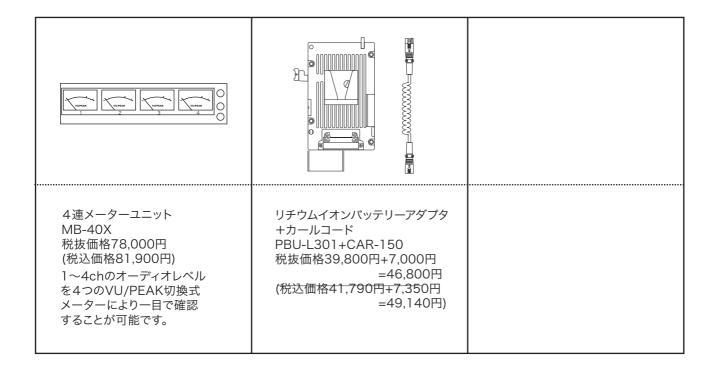
リンクケーブル(別売)を使用し、親機側のMIXコネクタに子機のマスター出力を接続することにより8chミキサーとして使用できます。

別売リンクケーブル:LC-40X 標準価格 15,000円

1. リンクケーブル(別売)で、子機のMAS OUT マスター出力と親機(リンク仕様)のMIXコネクタとを接続します。



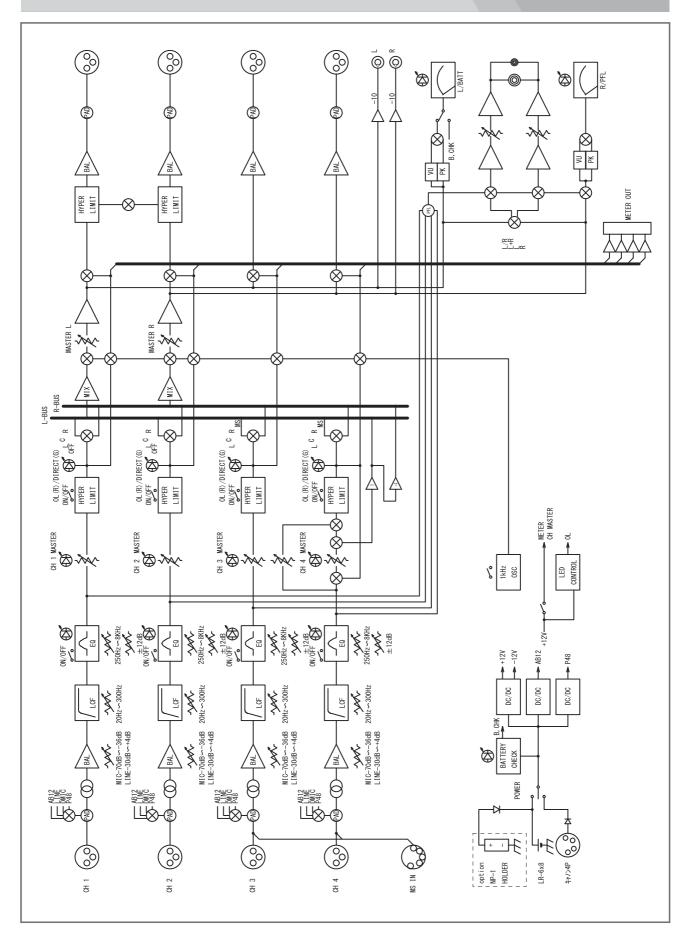
- 2. 子機の全入力がそのまま親機の入力としてミキシングされます。
 - (注)但し、以下の操作は子機自体でしか動作しません。
 - ・子機の1kHz基準信号発信
 - ・子機のプリフェーダーリッスン(PFL)でのモニター



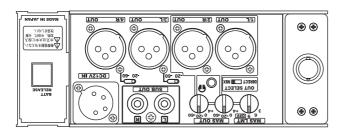
ブロックダイアグラム

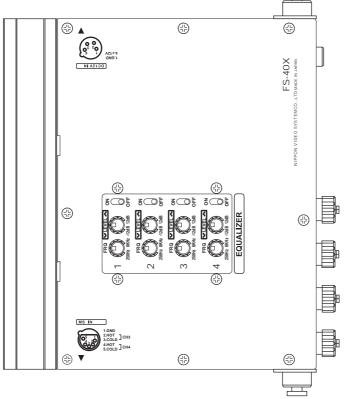
4 ch Field Mixer FS-40X

FS-40X ブロックダイアグラム



4 ch Field Mixer FS-40X

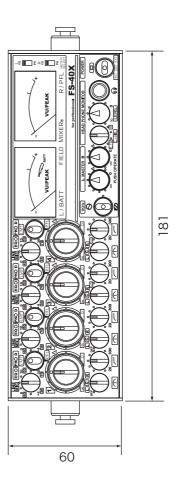






⊕ ⊕

⊕ ⊕



160

FS-40X 仕様

入 力	
音声入力	1 IN ~ 4 IN 4x XLR 3-pin(オス)
	MS IN (CH 3/4) 1x XLR 5-pin (メス)
入力レベル	MIC -70 ~ -36dBs 連続可変
	LINE -30 ~ +4dBs 連続可変
インピーダンス	600Ω±10%
マスター音声出力	MAS OUT 1/L, 2/R 2x XLR 3-pin
サブ音声出力	SUB OUT 3/L, 4/R 2x XLR 3-pin
	SUB OUT L/R 2x RCA ピンジャック
ヘッドホンモニター	HEAD PHONE MONITOR 1x φ6.3 ステレオジャック
	1x φ3.5 ステレオミニジャック
	L/R:+24dBm
音声出力レベル	MAS 1/L, 2/R OUT: +4·0·-20·-60dBm 平衡, 600Ω 負荷
日严山ガレヘル	SUB 3/L, 4/R OUT : -20·-60dBm 平衡, 600Ω 負荷
	RCA OUT L, R: -10dBV 不平衡
	MONI OUT: -6dBs 不平衡, 8Ω 負荷
#+ ##	INIONI OUTOuds 小十関, O立 頁何
特性	
周波数特性	LINE: 50Hz - 15kHz ±1.0dB
	MONITOR: 50Hz - 15kHz ±3.0dB
S/N 比	≥ 54dB (-70dBm 入力時)
	≥ 64dB (+4dBm 入力時)
	MONITOR: ≥ 60dB (30kHz, L.P.F.使用時, 入力600Ω負荷)
歪み率	MIC LINE: ≦ 0.2%
	MONITOR: $\leq 2\%$ (50Hz ~ 15 KHz)
機能	
イコライザー	FRQ(周波数): 250 Hz ~ 8 kHz 各チャンネル独立調整可能
	LEVEL(レベル): -12 dB ~ +12 dB 各チャンネル独立調整可能
ファンタムマイク入力	電源: P-48V(+48 V) および A-B12V 各チャンネルに装備, 合計最大 30mA
ローカットフィルタ(H.P.F)	20 ~ 300Hz, -12dB/oct, カットオフ周波数連続可変
オシレーター	1 kHz
オーディオレベルメーター	VU メーター/PEAK メーター L/R VU/PEAK切替 L/Rチャンネル独立
リミッター	入力: ハイパーリミッター 1-4各チャンネル独立ON/OFF可能
	出力:マスター出力リミッター L-R各チャンネル独立レベル切替/OFF可能
プリフェーダーリッスン機能	マスターボリューム直前(フェーダー直前)の音声モニターヘッドホンにより可能
 電 源	
電池	8x 単三乾電池(LR-6): スライドバッテリーケース(付属)使用
	Sony Li-イオン バッテリーパック : バッテリーアダプター BKW-L601(別売オプション)使用
 DC 電源入力	DC 12V IN 1x XLR 4-pin(オス), DC 9 V - 18 V, 最大 0.5 A
電力消費	約 0.3A
	0°C ~ 40°C
	-20°C ~ 50°C
質量	約 1.9 kg
	181 x 60 x 160 mm(幅x高さx奥行き) (バッテリーケースを含む)
 付属品	
	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
スフ1トハッナリーケー人/ 専用	キャリングケースおよびキャリングベルト(*L仕様には付属されません)/取扱説明書

NOTE デザイン、仕様は、予告なく変更することがあります。

アフターサービス

■保証書

本製品には保証書が添付されています。 お買い求めの際に販売店の押印がない場合は、無効となります。 保証書は再発行いたしませんので、紛失しないように大切に保管してください。

■保証期間

お買い上げいただいた日より一年間です。

■保証期間中の修理

保証規定に基づいて修理いたします。(送料等はお客様負担でお願いします。) 詳しくは保証書をご覧ください。

■保証期間経過後の修理

修理することによって性能が維持できる場合は、お客様のご要望により 有料で修理させていただきます。

■修理を依頼される前に

故障かな?とお思いになったらまず取扱説明書をよくお読みのうえ、もう一度 ご確認ください。それでも異常があるときは、お買い上げの販売店、または 弊社サポートセンターへお問い合わせください。

■ご質問、ご相談について

アフターサービスについてのご質問、ご相談は、お買い上げの販売店、または 弊社サポートセンターへお問い合わせください。

お問い合わせ窓口

Owebsite http://www.protechweb.jp Oe-mail support@protechweb.jp

PROTECH® サポートセンター

0567-24-4581

(株)日本ビデオシステム プロテックサポートセンター

〒496-8005 愛知県愛西市諸桑町郷城218番地

TEL 0567-24-4581FAX 0567-24-4577

午前10時~12時・午後1時~6時まで (土・日・祝日を除く) 会社名、商品名は各社の商標、または登録商標です。PROTECH は日本ビデオシステムの登録商標です。



FS-40X Operating Instructions